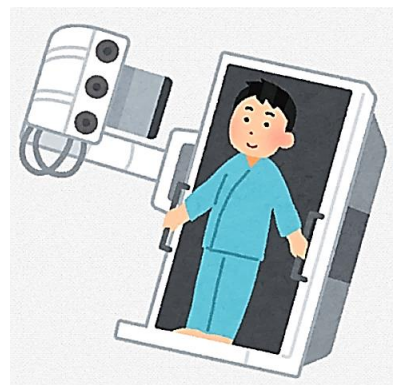


胃のポリープ取らなくて大丈夫？

医療法人 小金井中央病院
内科医長 大和田 潤

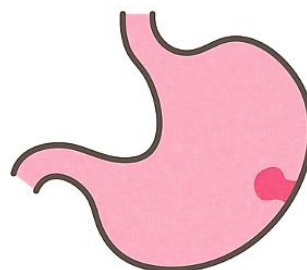
バリウムや胃カメラの検査で「胃のポリープがあります」と言われると、不安になる方も多いのではないのでしょうか。

しかしながら、胃のポリープは多くの場合、良性（がんではない）で、すぐに治療や手術が必要なわけではありません。

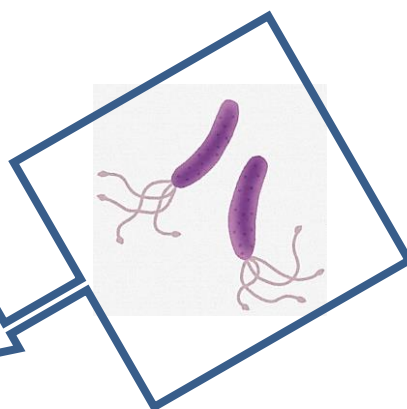


胃のポリープには主に以下の種類があります。

- ・ **胃底腺ポリープ**：主にピロリ菌がいない人や、胃酸を抑える薬を長期間使っている人にできやすいポリープです。こちらは良性で、がん化することはほとんどありません。

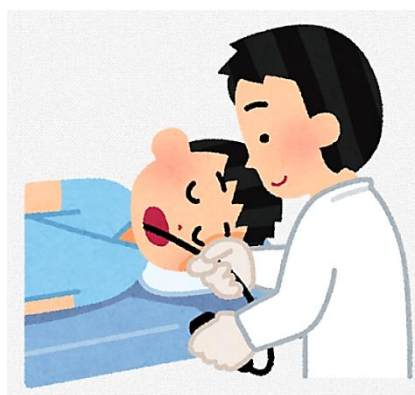


- ・ **過形成性ポリープ**：主にピロリ菌がいる、あるいは過去にピロリ菌がいた人にできやすいポリープです。胃の粘膜が炎症などで厚くなりできるポリープです。ほとんどが良性で、がんになることはまれです。大きさが小さく、数も多くない場合は、定期的に経過観察をするだけで問題ありません。



- ・**腺腫性ポリープ**：主にピロリ菌がいる、あるいは過去にピロリ菌がいた人にできやすいポリープです。しばしば、がんになる可能性があるため、大きいものや形に特徴があるものは、医師が切除や検査を勧めることがあります。

医師は胃カメラの検査の際にポリープの形や大きさを見て、必要があれば組織の一部を採取して詳しく調べます（生検）。その結果に基づいて、切除が必要かどうか判断します。



多くの場合は、定期的な胃カメラの検査でポリープの変化をチェックしながら経過観察を行います。無理にとらなくてもよいことがほとんどなので、安心してください。

ただし、ポリープが急に大きくなった、形が変わった、出血が持続している、お腹の症状がある場合などは、早めに医師に相談しましょう。不安なことやわからないことがあれば、いつでも担当医に聞いてください。胃の健康を守るために、定期的な検査と正しい知識が大切です。



血液検査と食事

医療法人 小金井中央病院
臨床検査科 検査技師 竹沢 純平

採血のとき、「朝食は食べずに来てください」と言われたことはありませんか？
「なんで朝食を抜く必要があるの？」と疑問に思った方も多いと思います。実は、検査の項目によっては正しい結果がでないことがあるからなのです。その理由や注意を簡単に説明いたします。

<血糖値>

食事を始めてから血糖値は徐々に上昇し、通常は1時間から2時間後にピークを迎えます。食後すぐに採血をすると、健康体の人でも異常に高すぎる値が出てしまいます。



<中性脂肪>

「中性脂肪」は、食事で摂った糖分や、体の中で作られた脂肪が血液に流れ出したものです。食後4～8時間後にピークを迎え、10時間ほど経て落ち着いてきます。夜ご飯を食べても朝ご飯を抜けば、10時間以上食事をとっていないことになり、ほぼ正常な状態で血液検査ができるというわけです。



10時間…



＜その他の検査＞

たとえば「インスリン」や「アルカリホスファターゼ」は食後に高くなりやすく、「遊離脂肪酸」は逆に低くなることがあります。食事によっていろいろな検査の数値が変わってしまうのです。

＜水分について＞

採血前でも基本的に水を飲むことは問題ありません。脱水にならないよう、適度に飲んでください。ただし、牛乳、ジュースやコーヒー、甘い飲み物などは数値に影響があるため、控えてください。



ときどき「食後に採血をしてください」という医師の指示がある場合もあります。わからないとき・不安なときは、お気軽に相談やお問い合わせください。

朝ご飯を抜くのはちょっとつらいかもしれませんが、正確な検査結果をうるために、ぜひご協力をお願い致します。

